

平成30年度第1回 福岡県朝倉区域地域医療構想調整会議の結果概要について

1 会議の開催日時及び場所

日時：平成30年8月2日（木）14時00分～15時30分

場所：朝倉医師会館 研修室

2 出席委員

別紙委員名簿のとおり（出席者：出席委員13名、欠席2名）

3 開会

- ・要綱第5条に基づき、委員の互選により坂田委員を議長に選出。

議 事

(1) 地域医療構想の推進に係る今後の進め方について

事務局より資料1について説明。

【質疑・応答】

（委 員）公的医療機関が先に2025プランを立てているが、医師会の方針では公的医療機関でない医療機関から優先していくということではなかったか。

（委 員）2025プランは公的医療機関が先に立てるが、病床転換に関しては民間病院が先に行うという順番になっている。病床転換などに係るものに関しては、プランはできていてもストップがかかる。今年診療報酬改定もあり、民間病院は病院の経営状態など把握するのに時間がかかる。それから病床転換を行っていくだろうから、それが全部終わった後に、仮に朝倉医師会病院がプランに沿った形で病床転換を行うということになれば、ここで協議をすることになる。なので、2025プランだけは公的医療機関が先に立てることになっている。

⇒異議なく了承。

(2) 調整会議における「協議参加を求める場合」の運用について

事務局より資料2-1, 資料2-2について説明。

【質疑・応答】

（委 員）調整会議の強制力はどこで担保されているのか。

（事務局）県は調整会議への出席を求めることができ、医療機関はこれに応ずるよう努めなければならないことが医療法に規定されている。

⇒異議なく了承。

(3) これまでの取組状況について

事務局より資料3について説明。

【質疑・応答】

（事務局）承認されたプランは随時県のホームページに掲載している。（補足説明）

⇒異議なく了承。

(4) 平成30年度財政支援について

事務局より資料４－１,資料４－２について説明。

【質疑・応答】

(委 員) 朝倉区域では急性期病床が多く、回復期病床が足りていないため、財政支援により転換が進めばよいでしょうね。

(委 員) 施設開設準備経費等支援事業について説明いただきたい。

(事務局) 従来は施設経費補助であったが、平成３０年度から新規で介護医療院等の開設に係る準備経費についても財政支援を行うというものである。医療療養病床からの転換に伴う、職員の募集経費やシステムを変えるための経費、新たに開設したことの広告経費等がなかなかみられていないということで、県の単費になるが、助成の対象とすることとしたもの。開設の半年前から対象とし、基準額は１床あたり１５万６千円。

⇒異議なく了承。

(５) 平成２９年度病床機能報告について

事務局より資料５－１～資料５－７について説明。

【質疑・応答】 なし

⇒異議なく了承。

<以下、個別医療機関に関する事項のため非公開>-----

(６) その他

特になし。

以上